

森林環境保全の推進（継続）

<森林づくり交付金ソフト>

1. 趣 旨

森林の有する多面的な機能を持続的に発揮させるためには、気象的要因による災害のみならず様々な災害から森林資源を保護する必要がある。

とりわけ、林野火災は、直接CO₂を排出すると同時に吸収源の消失に直結する森林にとっての重大な脅威であり、また、廃棄物の不法投棄等による森林被害は、水源地を汚染するなど、これら事案が深刻化した場合には自治体の境界を越えた広域的被害を及ぼすことが懸念されるところである。

このため、林野火災や不法投棄等人為的な要因による被害については、適正な森林保全管理水準の維持・確保を図り、林野火災等各種森林被害を未然防止又は早期発見することが必要である。

これらの対策を効果的かつ効率的に実施するため、地域の実情に応じた総合的かつ一体的な実施を図り的確な森林環境の保全に資する。

2. 事業内容

(1) 森林保全管理体制整備

地域の関係者による協議会の実施、地域における森林保全管理活動の中心となる森林保全推進員の養成等、地域の自主的な森林保全管理活動の支援体制整備を総合的に実施。

(2) 林野火災予防対策

林野火災予防体制の強化、地域住民等に対する林野火災防止意識の啓発、林野火災予防情報システムの整備等を推進。

3. 事業実施主体 都道府県、市町村、森林組合等

4. 交 付 率 定 額

5. 事業実施期間 平成17年度～平成21年度（5年間）

6. 平成18年度概算決定額 3,695,468(4,431,000)千円

【林野庁 研究・保全課 森林保護対策室】